



八剱神社 (いわき市)

平安時代中期ごろ、東夷征伐（前九年の役）平定のために当地を訪れた源頼義、義家父子が宝刀を奉納し必勝祈願を行い、更に、尾張国熱田神宮より日本武尊の遺品を勧請したと伝えられている。



水雲神社 (福島市)

鎌倉時代に造営され、天福元（1233）年に住吉大明神と一緒に祀られていた水雲の神を遷宮したと伝わる。元文4（1739）年に社殿を修築し、弘化元（1844）年には本殿拝殿を建立。古くから「にわとり権現さま」と呼ばれる。

白澤彫刻を有する県内の寺社年表

年号	川俣町内寺社	川俣町外寺社
文安 3（1446）年		福生寺観音堂（会津美里町）この年以前に建立
享保 12 ～ 13 年	川俣地区天候不順大凶作	
享保 14（1729）年	信達農民一揆勃発	
享保 15（1730）年	一揆首謀者打首獄門・遠島	
享保 16（1731）年	春日神社拝殿起工	
享保 17（1732）年		享保の大飢饉（悪天候と害虫の大量発生）
元文 3（1738）年		平藩元文百姓一揆勃発
元文 4（1739）年		一揆首謀者打首獄門・追放・幽閉
元文 5（1740）年	春日神社拝殿完成	
延享 1（1744）年		八剱神社（いわき市）本殿建立
延享 4（1747）年		平藩主内藤正樹一揆の責めを受け日向延岡に移封
寛延 3（1750）年		福生寺観音堂（会津美里町）向拝建立
文化 13（1816）年	東福沢薬師堂建立	
弘化 1（1844）年		水雲神社（福島市）本殿建立

妖怪シンポジウム

かみの妖怪 きの妖怪

1 講演会

8月9日(土) 13:00 ~ 16:40
(開場 12:00)

会場 中央公民館ホール (入場無料・全席自由)

司会 飯田久美子アナウンサー

講演内容 (発表順)

吉田 秀享 (川俣町生涯学習課歴史・文化係長)
春日神社の白澤について

佐々木 聡 (金沢学院大学文学部准教授)
古代の『怪異』から近世の『妖怪』へ
～怪異・妖怪の歴史・社会的背景を語る～

岩間 理紀 (毎日新聞社福島支局記者)
国内白澤の紹介 (寺社装飾としての白澤を
福島県内を中心に) ～一緒に白澤を探して
みませんか?～

峰守 ひろかず (小説家)
フィクションの中に生き続ける妖怪たち

2 白澤見学バスツアー

8月10日(日) 9:00 ~ 12:50
定員 50名

- 見
学
場
所
1. 東福沢薬師堂 (川俣町)
 2. 春日神社 (川俣町)
 3. 水雲神社 (福島市)

募集は締め切りました

妖怪シンポジウム×羽山の森美術館

高橋伸樹イラスト展

8月7日(木) ~ 8月31日(日)
10:00 ~ 16:00

会場: 羽山の森美術館 (入場無料)

※毎週月曜休館 (月曜が祝日の場合は翌日休館)



春日神社 (川俣町)

社殿は三間社の流れ造りで、入母屋に千鳥破風、唐破風を配した堂々たる建物である。内陣には中央に春日四所明神を祀る本殿、左右に相殿として天照皇太神と八幡武大神を祀る摂社の三神殿がある。



東福沢薬師堂 (川俣町)

五十沢羽山の本地堂とみられ、以前は堂の下方に長床もあり木幡山参拝、羽山信仰の行や祭祀の場とされていた。堂内には本尊薬師と脇侍の日光、月光、十二神将、三条院の不動三尊、五大明王などが祀られている。



福生寺観音堂 (会津美里町)

会津三十三観音第26番札所で、会津中世建築の貴重な遺構となっている。本尊の木造十一面観音坐像は像高が220.7cmあり坐像としては札所中最大、センノキを用いた寄木造の秘仏となっている。

川俣以外にある
福島県内の白澤

現在までのところ福島県内において白澤彫刻は、春日神社 (川俣町)、東福沢薬師堂 (川俣町)、福生寺観音堂 (会津美里町)、八剱神社 (い

わき市)、水雲神社 (福島市) で確認されています。福島県内の白澤彫刻を有する寺社で起きた出来事や建立年をまとめたのが右ページの年表です。福島県内の白澤彫刻を有する寺社の中では春日神社が最も古い建築彫刻であることが分かります。

「全国的にも珍しい白澤彫刻がなぜ川俣町にあるのか」「2体の白澤の組み合わせが意味するもの」など詳細が明らかになっていない点もありますが、今後、時代的な背景や全国事例なども含め調査を進めていく予定です。

皆さんもぜひ、白澤を見に足を運んでみてください。